

令和7年度第1回大府市文化懇話会 議事録

日時：令和7年5月20日（火） 午後2時から午後3時

場所：大府市役所5階 委員会室1

＜出席委員＞ 6名（敬称略）

安田 文吉（東海学園大学客員教授、南山大学名誉教授）助言者

加藤 武志（名城大学非常勤講師）座長

越後谷 卓司（多摩美術大学教授）

伴 恵（大府市文化協会）

張 悦（大府市国際交流協会）

山口 智絵子（大府市副市長）

【欠席】花井 里名（おおぶの杜育み隊）

＜事務局＞

市民協働部長

文化交流課長、文化振興係長、文化振興係主査、主事

大府市歴史民俗資料館長

愛三文化会館指定管理者

おおぶ文化交流の杜指定管理者

1 座長、助言者あいさつ

2 事務局自己紹介

3 議題

（1）令和6年度下半期事業実績について

資料に基づき事務局、各施設説明

〈質疑応答〉

（委員）どの施設も事業に力を入れていただき感謝する。大府市文化芸術振興指針にはパラアート支援の記載があるにもかかわらず、「パラアートおおぶ」の実績が上がっていないのはなぜか。ぜひとも実績に入れてほしい。

（事務局）パラアートについては、高齢障がい支援課が担当している。文化交流課は主催ではないが、展示場所での連携は図っているため、今後は文化の実績として入れていく。

(委員) コンサート等に利用できる託児サービスの利用数はどれくらいあるのか。

利用件数は近年増加傾向にあるのか。

(事務局) 主催公演で概ね年間 10 公演中 3 公演程度。演目にもよるが、利用件数は横ばいである。平日の有料託児サービスをテスト形式で導入しようと思っており、これを機にアローブの託児サービスが周知されればと考えている。

(委員) 素敵な託児スペースがあるのでぜひとも活用いただきたい。

(委員) おおぶシネマパラダイスの「境川と水害」について詳しく知りたい。

(事務局) 大府市教育委員会の視聴覚研究会が平成 2 年に撮影したものである。北崎や横根と協力して歴史を小学生に伝えるために制作された。11 分程度の映像。

(委員) 現在、映像のアーカイビングが重要視されているため、こういった試みはぜひ続けていただきたい。

(委員) 市の SNS はほぼ日本語の発信である。大府の伝統の発信や子育て支援など、外国人でも理解しやすい内容だといいい。

(事務局) 今年度は、文化振興係では韓国との交流を深める文化事業、多文化交流係では外国の方が住みやすい仕組みを考える多文化共生推進会議を行うなどしている。こうした面から今後も課内全体で協力し、このような課題に取り組んでいく。

(事務局) 大府ではベトナム国籍が増えている。多言語対応として、どのような言語に対応するべきか。

(委員) 言語的な対応もよいが、非言語で視覚的な方法であれば負担が少なく、幅広い理解を得ることが可能である。

(委員) 留学生やホストファミリーなどの茶道体験で文化協会が関わっている。AFS 名古屋南支部（留学支援団体）の活動は、市においてどのような位置づけになっているのか。

(事務局) 多文化交流の分野である。コラビアという市民活動の拠点で自主的に活動している。過去に国際交流デーでの交流がある。

(委員) ウクレレ講座について、5 年間継続し、全クラス満席を維持することができていることは素晴らしい。集客のコツや理由が知りたい。

(事務局) 講師や担当者の魅力が大きいと考える。講師は初回から変わらず、担当者は自分で貸館を借りて演奏会を行えるほどの技量がある者を配置している。また、ウクレレは、上達を感じやすい楽器で、講座の中でもステップアップができるように初級・中級・上級とクラスを用意したり、当館のステージ等で発表の場を設けたりするなどモチベーションアップの工夫をしている。また、継続することで受講者同士の交流や絆が生まれている。

(委員) 企画展「宮沢賢治と音楽」について詳しく知りたい。また、ミニ展示「第 16 回歴史民俗資料館ひなまつり」において、三畳間で「おこしもの型」を展示したようだが、どのようなものを展示したのか。おこしものについてしっかり説明がされていたのか。

(事務局) 企画展については、宮沢賢治が収集していたバイオリンなどの楽器やレコード等の展示を行った。レコードは、当時の物は割れたりするものが多い中、きれいな状態で残っており、大変貴重であった。賢治愛用のチェロは花巻の宝ということで、実物を展示することはできなかったが、高精細 3D 画像で展示した。

また、おこしものについては、資料館では直接行っていないが、市内の各公民館において、2～3月に「おこしもの講座」をやるようにしており、大府市全体として実施していると理解していただければと思う。

(委員) おこしものはこの地方特有のもので、木型は文化財だ。今後もぜひ伝えていて欲しい。

(2) 令和 7 年度事業計画について

資料に基づき事務局、各施設説明

〈意見交換〉

(委員) 本市は国際芸術祭「あいち 2025」巡回展示の 4 市町の一つに選ばれた。市役所も展示会場となるのでぜひ皆様にご覧いただきたい。また、市制 55 周年ということで、様々な方に楽しんでもらえるコンサートも予定している。

(委員) 10 月 19 日に県民茶会を開催する。延べ 1,000 人の参加者を予定している。琴とバイオリンの演奏を行う予定である。

(委員) 資料にビジョン作成とあるが、文化およびスポーツの融合とはどういうことか。具体的なプランが決まっていれば教えていただきたい。

(事務局) 文化とスポーツをどのように活用するか、これから検討していく。

(委員) なかなかこのような取り組みは他で見られないので期待している。

(委員) 東儀秀樹のコンサートではどのような曲目が予定されているのか。

(事務局) まだ構成は決まっていない。出演者は雅楽から J ポップまで幅広く演奏するので、楽しみにしていただけたらと思う。曲目は決まり次第 SNS やウェブサイト等に掲載し PR する。

4 その他

【次回開催連絡】 令和 7 年 11 月予定